

若者と地域との協創推進事業（伊賀市）活動記録

1 日時

平成 30 年 12 月 16 日（日） 10:00 ～ 16:15

2 場所

伊賀市阿保地区（阿保地区市民センター分館）

3 参加者

学生 5 名（皇学館大学 3 名、近畿大学工業高等専門学校 2 名）
阿保地区住民自治協議会 会長・副会長ほか役員、関係者等

4 活動内容等

平成 30 年 12 月 16 日（日）、伊賀市阿保地区における第 5 回活動を実施した。
阿保地区市民センター分館に集合し、午前中は餅つき体験を行った。

餅つき体験では、蒸しあがった伊賀米のもち米を昔ながらの臼と杵を使って交代でついて、つきあがった餅を食べやすい大きさにちぎって成形していった。できあがったお餅は、大根おろしやきな粉、あんこなどで好みの味付けにして昼食に食べた。

午後からは、防災ボランティアとして東北や中国地方などの被災地を訪問し、餅をつき、被災者に配る活動を長年に渡り続けてきた阿保地区住民自治協議会の防犯防災・環境部会長から、被災地での活動の実体験などについてお話しいただいた。

その後、来年 3 月の初瀬街道まつりに向けて、同まつりで使用するグッズの一つとして参加者それぞれのオリジナル T シャツを完成させるとともに、初瀬街道まつりの PR や、まつりでのブース出展などについて学生同士で意見を出しあった。



講話（防災ボランティア活動）

次回活動日は来年 1 月 20 日（日）とし、県内でも地域によってそれぞれの特徴が分かれるお雑煮づくりを行うとともに、3 月の初瀬街道まつりに向けた準備を進めていくこととする。



餅つき



餅つき (成形)



餅つき (大根おろし)



餅つき (きな粉、あんこ)



つきたてのお餅で昼食



オリジナルTシャツづくり



オリジナルTシャツづくり



オリジナルTシャツづくり